

# 実習を受け入れている保育現場が望む実習生とは —保育者養成校の実習指導について—

## What kind of skills of trainees were required in a nursery school ? ~For guidance of teaching practice ~

栗原多恵

Kurihara Tae ※<sup>1</sup>

大塚登

Otsuka Noboru ※<sup>2</sup>

### Abstract:

In this study, the authors researched what kind of skills of trainees were required in a nursery school, and analyzed what should be done in practical training guidance of a college.

As a result, it was found that manners and the attitude to work together and learn together were required most importantly.

### キーワード：

幼稚園教育実習 保育実習 保育者養成 実習指導

### 1. はじめに

保育者養成校に通う学生は、カリキュラムの中に教育実習（幼稚園、認定こども園）、保育実習（保育所、施設）の実習が含まれている。実習は、講義や演習で学んだ事を実際に実践できると同時に、保育者の動きや子どもの姿などを見て、保育現場を知ることができる貴重な体験である。学生にとって実習は大きな関心事でもあり、夢の実現への第一歩でもある。

2018年の芳井らの報告<sup>1)</sup>では、保育実習に臨む学生の不安度についてコミュニケーション能力や書く力、臨機応変に臨む力などのアンケートを、学生、保育士、大学教員を対象に行なった。コミュニケーション能力や書く力、臨機応変能力のいずれを見ても学生の自己評価は高いが、受け入れ園（以下実習園と略す）の保育士や大学教員の

評価は学生が思っているより低い結果となっていた。

一方、平成29年度全国保育士養成協議会の調査報告<sup>2)</sup>では、「遅刻や早退、欠勤などせず、実習できる」「言葉づかい、挨拶、服装など、保育士としての基本的な態度が身につく」等の実習マナーについて、学生の多くは実習前にすでに獲得済みと回答していた。

他方、2012年の林らの報告<sup>3)</sup>では、保育所・幼稚園・施設を対象としたアンケートの調査結果から、養成校への要望として、ピアノの技術や指導計画の立案など具体的な保育の技術や専門知識が求められていると同時に、資質や人柄などが見られていることを報告している。また、2014年の戸川<sup>4)</sup>の調査でも保育現場では保育技術だけでなく、礼儀や作法といった社会性に関わるスキルも

※<sup>1</sup> 足利市立桜小学校 支援員 Ashikaga Sakura Elementary School Support Staff

※<sup>2</sup> 佐野日本大学短期大学 総合キャリア教育学科 Sano Nihon University College Associate Professor

必要であり、実習生の時点でこれらの事を身につけておいて欲しいと求められていることを報告している。

学生は社会的スキルが高いと自覚しているが、実習園ではそれ以上のスキルが求められているということが推測される。

## II. 目的

本研究では、実習を受け入れている保育現場はどんな実習生を望むのかを知り、保育者養成校の実習指導ですべきことは何なのかを明確にすることを目的としている。先行研究では自由記述欄が多いことから、保育現場の先生方の生の声として“どのような事を実習生に望んでいるのか”という具体的なものが見えにくかった。それゆえ、社会的な要素として身だしなみについて、保育者とのコミュニケーション、子どもとのかかわり、また保育技術的要素としてピアノの技術、手遊びや絵本などについて、責任実習について、実習日誌についてなど、

保育者と実習生の関わりの中で考えられる細かな項目を立てて調べる事にした。

## III. 方法

### 1. 実施時期

2020年3月初頭に、調査実施したい施設にアンケートの趣旨および内容を説明し、研究結果を本研究報告のみの資料として使用しないこと及び施設等の実名を非公開にすることを文書にて依頼し実施した。

### 2. 調査対象者

アンケート調査に同意をいただけたS市内の幼稚園（認定子ども園を含む）12園に勤務する幼稚園教諭を対象とした。12園のうち11園へのアンケートは、園長を含む職員4名を対象として実施し、人選は各園に委ねた。

1園については園長、主任教諭、正規教諭、時短勤務教諭、臨時教諭を含む全ての教諭を対象者として実施した。

計55名の先生方に無記名で協力していただいた。

**アンケート ～園の先生方が実習生に望んでいること～**

“現場ではどのような保育者が求められているのか” “そのような保育者を養成する為に養成校で身につけておくべき事は何か”を調査するために、実習を受け入れていただいている保育現場で、園の先生方が実習生に望んでいることについて教えていただきたいと思っています。また、経験年数も合わせて教えていただけたらと思います。お忙しいとは存じますが、ご協力よろしくお願いいたします。

なお、アンケートの結果は園名を非公開として論文作成に使用させていただきます。

|      |           |
|------|-----------|
| 経験年数 | 幼稚園 ( ) 年 |
|      | 保育所 ( ) 年 |
|      | 施設 ( ) 年  |

**1. 身だしなみについて（主なもの3つ選択）**

☐おれをつけている ☐ナチュラルメイクである

☐アクセサリーを外している ☐ハンカチを身につけている

☐爪が伸びていない ☐エプロンを着用する

☐保育がふさわしい服装である ☐メモが取れるように筆記用具を身につけている

☐長い髪は縛る ☐その他 ( )

**2. 保育者に対して（主なもの3つ選択）**

☐挨拶や返事が出来る ☐自分で判断して動ける

☐社会人としての言葉遣い ☐困った時にすぐ質問できる

☐コミュニケーションをとる ☐忘れ物をしない

☐笑顔・明るい ☐体調管理が出来ている

☐先生の指示にすぐ動ける ☐その他 ( )

**3. 子どもに対して（主なもの3つ選択）**

☐手遊びが出来る ☐感情などの特徴を知る

☐絵本や紙芝居が読める ☐制作や給食の準備を手伝う

☐一瞬に集中しむことが出来る ☐子どもの健康状態に気づける

☐言葉理解を理解して関わる ☐子どもの顔に合った声の大きさ

☐積極的な態度や姿勢である ☐その他 ( )

**4. ピアノについて（主なもの3つ選択）**

☐弾けなくても良い ☐弾き歌いが出来る

☐片手でメロディーを弾く程度 ☐子どもを見ながら弾くことができる

☐簡易伴奏が弾ける ☐本格伴奏が弾ける

☐両手両足を両手で弾ける ☐ピアノ以外の楽器で演奏する（例…）

☐止まらずに弾ける、失敗しても続ける ☐その他 ( )

**5. 手遊び・絵本・紙芝居について（主なもの3つ選択）**

☐年齢や季節に合ったものである ☐声の大きさや声色を変えて読む

☐次の活動に繋がるものである ☐間の取り方

☐見やすい位置で読む ☐新しい手遊びをする

☐ページをめくり方や置き方 ☐手作りのものを取り入れる

☐事前に内容を読んでおく ☐その他 ( )

**6. 責任実習（部分・1日）について（主なもの3つ選択）**

☐年齢に合った活動を考えている ☐環境作りをする

☐季節や時期にあった活動である ☐導入が次の活動へと繋がるものである

☐担当者として話し合いながら準備を進める ☐指導案通りに保育を行なう

☐子どもの姿をふまえた指導案が書ける ☐臨機応変に対応する

☐教材準備が期日までに出来る ☐その他 ( )

**7. 実習日誌について（主なもの3つ選択）**

☐1日の生活の流れが時系列で書けている ☐顔文字や絵で丁寧に書いている

☐子どもの成長が記録されている ☐保育者からの助言をきちんとまとめてある

☐実習のねらいが具体的に書かれている ☐指導や指導を受けた箇所をきちんと訂正してある

☐気づいた事や感想が自分なりの言葉でまとめられている ☐提出期限をやる

☐園構成員が書いている ☐（日々の活動や実習を終えた感想、反省等）

☐その他 ( )

**8. 実習生を受け入れた際に、困ったことなどありましたら教えてください。**

今後の指導の参考にさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

図1 アンケート

### 3. 調査内容

先生方が実習生に望んでいることを問う、7項目の選択式のアンケートを行なった(図1)。各項目の選択肢は10個とし、その中から3つを選択してもらった。また、その他の欄を設け、選択肢にない場合は記述できるようにした。

8項目は実習を受け入れた際に困ったことについて記述式で答えてもらった。

また、幼稚園、保育所、施設などの経験年数を記入してもらった。

### IV. 結果

それぞれの項目について全体の度数の多い項目から並べなおして、表1～7に示した。幼稚園・保育園・施設での合計経験年数により、1～3年目(新人)、4～9年目(中堅)、10年以上(ベテラン)のグループに分けて示した。経験年数と実年齢は必ずしも一致しないが、基本的には比例していた。

経験年数の違いによる変化は見られなかったが、下位項目のいくつかについては変化が見られた。

以下、結果をまとめた。

#### (1) 身だしなみについて

保育者としてふさわしい身だしなみとして服装や爪、髪型など見た目が重要視されていた(表1)。

#### (2) 保育者とのかわわり

「挨拶や返事が出来る」を55人中51人が選択して、保育現場では重要視されていることがわかった。また、「困った時にすぐ質問できる」も重視されていた(表2)。

特筆すべきことは「先生の指示にすぐ動ける」、「体調管理ができてい」に対して、1～9年目の先生方は関心がないようだが、10年目以降の先生方はこれらのことも大切であると感じていた。

#### (3) 子どもに対して

手遊びや絵本ができることはそれほど重要ではなく、子どもと一緒に遊びを楽しむことが上位を占めた(表3)。

#### (4) ピアノについて

簡易伴奏が弾けて、止まらずに失敗しても続けて弾くことが求められていた。実習では本格伴奏は全く求められていなかった。また、10年目以上の先生方の中

表1 身だしなみについて

|                        | 全体<br>(165 回答) | 1～3 年目<br>(21 回答) | 4～9 年目<br>(24 回答) | 10 年 以上<br>(120 回答) |
|------------------------|----------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| ①保育にふさわしい服装である         | 21.8% (36)     | 23.8% (5)         | 16.7% (4)         | 22.5% (27)          |
| ②爪が伸びていない              | 20.6% (34)     | 23.8% (5)         | 16.7% (4)         | 20.8% (25)          |
| ③長い髪は毛は縛る              | 14.5% (24)     | 4.8% (1)          | 8.3% (2)          | 17.5% (21)          |
| ④メモが取れるように筆記用具を身につけている | 12.1% (20)     | 14.3% (3)         | 25.0% (6)         | 9.2% (11)           |
| ⑤名札をつけている              | 9.1% (15)      | 19.0% (4)         | 8.3% (2)          | 7.5% (9)            |
| ⑥アクセサリーを外している          | 8.5% (14)      | 4.8% (1)          | 12.5% (3)         | 8.3% (10)           |
| ⑦ナチュラルメイクである           | 4.8% (8)       | 9.5% (2)          | 4.2% (1)          | 4.2% (5)            |
| ⑧ハンカチを身につけている          | 3.6% (6)       | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 4.2% (5)            |
| ⑨エプロンを着用する             | 3.0% (5)       | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 3.3% (4)            |
| ⑩その他                   | 2.0% (3)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 2.5% (3)            |

(記述欄から)

- ・清潔感も身だしなみとして大切
- ・手作り名札の必要性を感じていない園もある

※ 1人3項目まで選択してもらった。したがって全体の欄は、3選択×55人=165回答。

以下すべての項目について同様。

表 2 保育者とのかわり

|               | 全体<br>(165 回答) | 1～3 年目<br>(21 回答) | 4～9 年目<br>(24 回答) | 10 年 以上<br>(120 回答) |
|---------------|----------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| ①挨拶や返事が出来る    | 30.9% (51)     | 33.3% (7)         | 29.2% (7)         | 30.8% (37)          |
| ②困った時にすぐ質問できる | 20.0% (33)     | 23.8% (5)         | 16.7% (4)         | 20.0% (24)          |
| ③笑顔で明るい       | 17.0% (28)     | 23.8% (5)         | 16.7% (4)         | 15.8% (19)          |
| ④社会人としての言葉遣い  | 12.7% (21)     | 14.3% (3)         | 12.5% (3)         | 12.5% (15)          |
| ⑤コミュニケーションをとる | 6.7% (11)      | 0% (0)            | 12.5% (3)         | 16.7% (20)          |
| ⑥先生の指示にすぐ動ける  | 4.2% (7)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 5.8% (7)            |
| ⑦体調管理が出来ている   | 3.6% (6)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 5.0% (6)            |
| ⑧忘れ物をしない      | 3.0% (5)       | 4.8% (1)          | 4.2% (1)          | 2.5% (3)            |
| ⑨自分で判断して動ける   | 1.8% (3)       | 0% (0)            | 8.3% (2)          | 0.8% (1)            |
| ⑩その他          | 0% (0)         | 0% (0)            | 0% (0)            | 0% (0)              |

(記述)

- ・わからなくて当たり前なので、専門的な所ではなく、まずは挨拶や返事、態度などを人としてしっかりとしてほしい
- ・うまくいかないのは当然のことなので、子ども達と向き合い、自分なりに頑張ろうという気持ちを持って取り組んでほしい
- ・どんな事でも疑問に思ったり不安になったら聞いてもらいたい
- ・わからない事があったら遠慮せずにどんどん聞いてほしい
- ・実習中 1 度も質問がないときがあり、意欲が感じられずどこまで指導すればよいかわかってしまいました。ささいなことでも良いので何でも質問してもらいたいと思います。質問してもらえれば、どの程度保育や子どもについて理解しているのかこちらも把握し、その実習生に合わせた指導ができるような気がします。

表 3 子どもに対して

|                | 全体<br>(165 回答) | 1～3 年目<br>(21 回答) | 4～9 年目<br>(24 回答) | 10 年 以上<br>(120 回答) |
|----------------|----------------|-------------------|-------------------|---------------------|
| ①一緒に楽しむことが出来る  | 27.3% (45)     | 28.6% (6)         | 25.0% (6)         | 27.5% (33)          |
| ②積極的な態度や姿勢である  | 25.5% (42)     | 33.3% (7)         | 33.3% (8)         | 22.5% (27)          |
| ③その場に合った声の大きさ  | 13.3% (22)     | 14.3% (3)         | 12.5% (3)         | 13.3% (16)          |
| ④発達段階を理解して関わる  | 8.5% (14)      | 4.8% (1)          | 8.3% (2)          | 9.2% (11)           |
| ⑤手遊びが出来る       | 7.9% (13)      | 9.5% (2)          | 8.3% (2)          | 7.5% (9)            |
| ⑥子どもの健康状態に気づける | 7.3% (12)      | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 9.2% (11)           |
| ⑦絵本や紙芝居が読める    | 6.1% (10)      | 9.5% (2)          | 0% (0)            | 8.3% (10)           |
| ⑧制作や給食の準備を手伝う  | 1.2% (2)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 1.7% (2)            |
| ⑨喧嘩などの仲裁をする    | 0.6% (1)       | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 0% (0)              |
| ⑩その他           | 2.4% (4)       | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 2.5% (3)            |

(記述)

- ・同じ目線になれる
- ・子どもの気持ちに寄り添う
- ・子どもの危険な動きや行動に気づき言葉がかけられる
- ・子どもとの関係性を理解してほしい (子どもは保育者の友達ではない)
- ・たくさん子ども達と関わって、子どもの動きを観察し、多くを学んでほしい
- ・子ども達の様子を見ながら補助や指導を考えてほしい
- ・同じ子どもと接する時間が多く見られる為、様々な子どもとの関わりを持ち、個人の発達を知ってほしい (目立つタイプの子だけでなく、内気な子とも関わってほしい)
- ・子ども達同士のトラブルや怪我について対応した場合は、その後きちんと担任など保育者に伝えてもらいたい
- ・子どもの怪我 (大小に関わらず) や喧嘩があった時はすぐに報告してほしいと伝えたが、降園後の報告になってしまう事もあったので、報連相の大切さを学校でも伝えてほしい

表4 ピアノについて

|                    | 全体<br>(165 回答) | 1～3 年目<br>(21 回答) | 4～9 年目<br>(24 回答) | 10 年以上<br>(120 回答) |
|--------------------|----------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| ①簡易伴奏が弾ける          | 29.1% (48)     | 23.8% (5)         | 29.2% (7)         | 30.0% (36)         |
| ②止まらずに弾ける、失敗しても続ける | 27.9% (46)     | 28.6% (6)         | 33.3% (8)         | 26.7% (32)         |
| ③弾き歌いが出来る          | 15.8% (26)     | 9.5% (2)          | 12.5% (3)         | 17.5% (21)         |
| ④課題曲を両手で弾ける        | 9.1% (15)      | 23.8% (5)         | 4.2% (1)          | 7.5% (9)           |
| ⑤子どもを見ながら弾くことができる  | 6.7% (11)      | 4.8% (1)          | 8.3% (2)          | 6.7% (8)           |
| ⑥ピアノ以外の楽器で演奏する     | 4.2% (7)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 5.8% (7)           |
| ⑦片手でメロディーを弾く程度     | 2.4% (4)       | 4.8% (1)          | 8.3% (2)          | 0.8% (1)           |
| ⑧弾けなくても良い          | 1.8% (3)       | 4.8% (1)          | 0% (0)            | 16.7% (2)          |
| ⑨本格伴奏が弾ける          | 0% (0)         | 0% (0)            | 0% (0)            | 0% (0)             |
| ⑩その他               | 3.0% (5)       | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 3.3% (4)           |

(記述)

- ・ギターや得意なものがあれば、それらの楽器を使っても良い
- ・苦手でも弾けなくても一生懸命努力して欲しい
- ・実習前に練習しておいて欲しい
- ・やる気を持ってほしい
- ・振りをつけて踊りながら一緒に楽しく歌うことも大切
- ・歌を好きでいて欲しい

表5 手遊び・絵本・紙芝居について

|                 | 全体<br>(165 回答) | 1～3 年目<br>(21 回答) | 4～9 年目<br>(24 回答) | 10 年以上<br>(120 回答) |
|-----------------|----------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| ①年齢や季節に合ったものである | 25.5% (42)     | 28.6% (6)         | 25.0% (6)         | 25.0% (30)         |
| ②事前に内容を読んでおく    | 20.6% (34)     | 9.5% (2)          | 20.8% (5)         | 22.5% (27)         |
| ③声の大きさや声色を変えて読む | 18.8% (31)     | 14.3% (3)         | 25.0% (6)         | 18.3% (22)         |
| ④見やすい位置で読む      | 16.4% (27)     | 23.8% (5)         | 12.5% (3)         | 15.8% (19)         |
| ⑤次の活動に繋がるものである  | 9.1% (15)      | 23.8% (5)         | 12.5% (3)         | 5.8% (7)           |
| ⑥間の取り方          | 6.1% (10)      | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 7.5% (9)           |
| ⑦ページのめくり方や抜き方   | 1.8% (3)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 2.5% (3)           |
| ⑧新しい手遊びをする      | 1.8% (3)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 2.5% (3)           |
| ⑨手作りのものを取り入れる   | 0% (0)         | 0% (0)            | 0% (0)            | 0% (0)             |
| ⑩その他            | 0% (0)         | 0% (0)            | 0% (0)            | 0% (0)             |

(記述)

- ・記述なし。

表6 責任実習（部分・1日）について

|                    | 全体<br>(165 回答) | 1～3 年目<br>(21 回答) | 4～9 年目<br>(24 回答) | 10 年以上<br>(120 回答) |
|--------------------|----------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| ①年齢に合った活動を考えられる    | 25.5% (42)     | 33.3% (7)         | 16.7% (4)         | 25.8% (31)         |
| ②教材準備が期日までに出来る     | 16.4% (27)     | 14.3% (3)         | 8.3% (2)          | 18.3% (22)         |
| ③臨機応変に対応する         | 15.1% (25)     | 14.3% (3)         | 16.7% (4)         | 15.0% (18)         |
| ④季節や時期にあった活動である    | 12.1% (20)     | 4.8% (1)          | 29.2% (7)         | 10.0% (12)         |
| ⑤担当者と話し合いながら準備を進める | 11.0% (18)     | 4.8% (1)          | 8.3% (2)          | 12.5% (15)         |
| ⑥子どもの姿をふまえた指導案が書ける | 8.5% (14)      | 14.3% (3)         | 8.3% (2)          | 7.5% (9)           |
| ⑦導入が次の活動へと繋がるものである | 7.2% (12)      | 4.8% (1)          | 8.3% (2)          | 7.5% (9)           |
| ⑧環境作りをする           | 3.6% (6)       | 9.5% (2)          | 4.2% (1)          | 2.5% (3)           |
| ⑨指導案通りに保育を行なう      | 0% (0)         | 0% (0)            | 0% (0)            | 0% (0)             |
| ⑩その他               | 0.6% (1)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 0.8% (1)           |

(記述)

- ・案の修正や方向性を変えることに柔軟であってほしい
- ・ここ数年、元気さや若さのパワーがあまり見られず大人しい実習生が多いので、元気で明るい実習生を求めます
- ・指導、助言、アドバイスをすることで実習生の気持ち折れてしまう事が多くなっているように思うので、どこまで指導すればよいのか悩む
- ・指導したことを言葉のままに受け取り、意図を理解していただけなかった事がありました
- ・短大生と4大生は生活年齢が異なるので、配慮が必要と感じています
- ・一生懸命な実習生を持たせていただくと、自分の保育の振り返りもより深くなり、自分も学ぶ良い機会となっています

表7 実習日誌について

|                              | 全体<br>(165 回答) | 1～3 年目<br>(21 回答) | 4～9 年目<br>(24 回答) | 10 年以上<br>(120 回答) |
|------------------------------|----------------|-------------------|-------------------|--------------------|
| ①気づいた事や感想が自分なりの言葉でまとめられている   | 30.3% (50)     | 28.6% (6)         | 33.3% (8)         | 30.0% (36)         |
| ②提出期限を守る（日々の日誌や実習を終えた感想、反省等） | 15.1% (25)     | 28.6% (6)         | 12.5% (3)         | 13.3% (16)         |
| ③保育者からの助言をきちんとまとめている         | 13.3% (22)     | 4.8% (1)          | 16.7% (4)         | 14.2% (17)         |
| ④実習のねらいが具体的に書かれている           | 12.1% (20)     | 4.8% (1)          | 4.2% (1)          | 15.0% (18)         |
| ⑤指摘や指導を受けた箇所をきちんと訂正してある      | 11.0% (18)     | 14.3% (3)         | 0% (0)            | 12.5% (15)         |
| ⑥子どもの成長が記録されている              | 7.9% (13)      | 4.8% (1)          | 16.7% (4)         | 6.7% (8)           |
| ⑦1日の生活の流れが時系列で書けている          | 6.1% (10)      | 14.3% (3)         | 8.3% (2)          | 4.2% (5)           |
| ⑧誤字脱字なく丁寧に書けている              | 2.4% (4)       | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 2.5% (3)           |
| ⑨環境構成図が書けている                 | 1.2% (2)       | 0% (0)            | 4.2% (1)          | 0.8% (1)           |
| ⑩その他                         | 0.6% (1)       | 0% (0)            | 0% (0)            | 0.8% (1)           |

(記述)

- ・日誌が日記にならないようにしてほしい
- ・実習日誌の書き方（写真を使った書き方、振り返りの仕方）を大学の先生と現場で考えていきたい
- ・実習生のねらいが保育者目線でない時（「子どもと仲良く過ごす」など）がある為、前日に考えて実習に臨んでほしい

にはピアノ以外の楽器による伴奏でも良いと考えている先生もいた(表4)。

#### (5) 手遊び・絵本・紙芝居について

年齢に合ったもの、季節にあったものということが上位を占め求められていた。手作りの作品はほとんど求められていなかった(表5)。

#### (6) 責任実習(部分・1日)について

年齢にあった活動を考える事が大切と感じていた。特に1～3年目の先生方は全員が選択した。指導案通りに保育を行なうことは誰も求めていなかった(表6)。

#### (7) 実習日誌について

気づいた事や感想が自分なりの言葉でまとめられていることが1番求められていて、環境構成図など専門知識的なことは重要視されていなかった(表7)。

#### (8) 記述欄

色々な意見を述べてくれたのは経験年数の豊富な先生が多かった。

### V. 考察

アンケートを社会的な面(身だしなみについて、保育者とかかわり)、保育技術面(子どもに対して、ピアノについて、手遊び・絵本・紙芝居について、責任実習、実習日誌について)の大きく2つに分けて考え、結果の上位となった項目に着目して考察する。

#### 1. 経験年数による観点

これまでに報告された調査においては、調査した実習施設の指導者における経験年数を考慮した報告はなく、実習に際しては指導者の経験年数も実習生の評価に大きく影響するものと考えられる。したがって、本研究ではアンケート結果を経験年数で分けることを試みた。1～3年目までを新人・若手、4～9年目までを中堅、10年以上をベテランとして考察する。

実習担当をするのは中堅教員の場合が多

く、そのため「メモが取れるように筆記用具を身に着けている」の実習日誌指導に直接結びつくことに注意がいくのだろう。

度数自体は少ないが、「体調管理ができてい」を挙げたのはすべてベテランであったが、園の運営を意識していることの表れであることが推測される。実際に勤務してもらうことを想定すると、安定して勤務する教員が求められることを経営者目線で見ているということであろう。

また、ベテラン教員の中にはピアノ以外の楽器による伴奏でも良いと考えている先生もいた。園全体で考えるとピアノ伴奏ができる教員が必要なことは間違いないが全員が弾けなくてもよく、却ってギター等での伴奏ができると等バラエティーに富んだ方が子どもたちにとって刺激になると考えているのかも知れない。

#### 2. 《社会的な面》

学生が思うレベルと保育の現場で必要とされるレベルの間にミスマッチがあることは先行研究から判っている。

実習前の学生は責任実習やピアノ伴奏などを心配しているが、本報告でも実習では日誌やピアノ・読み聞かせなどの具体的な保育技術もさることながら、それ以上に社会的な面が重要視されていることが判った。

学生は身だしなみや挨拶はできていると思っているが、現場で求めている資質はその目に見える行動の背景にあるものなのかもしれない。

1つ目は子どもたちに模範となるべき行動を示すという意味があることはよく言われる。保育者としてふさわしい身だしなみとして服装や爪、髪型など見た目が重要視されているのは、子どもの前に立つ以上、たとえ実習生であろうが1人の教師であることに違いはなく、模範を示すことを認識して身だしなみを整える必要があるためであろう。



2つ目には幼稚園の現場では、複数担任でクラス運営をしたり、特別支援の教員が入ることも少なくない。また、子どもの予測できない行動も少なくない。そのため、その時々環境に対応できる臨機応変さが必要で、また、保護者との信頼関係を築くためにも必要な資質として考えられているためと推測される。こうした人間関係のスキルは説明しにくいために、挨拶・質問・笑顔などで選択肢が選ばれたのではないかと考えられる。

今回のアンケートには「臨機応変」さを測る項目として「困ったときにすぐ質問できる」「自分で判断して動ける」を入れたが、実習生段階では何かあったらすぐ相談できるレベルの臨機応変さが求められている。

そのミスマッチを減らすためにどのように学生に指導すべきか、また実習生に対する実習園の思いを知ることが、より良い実習を行なうために必要であると考えた。

度数自体は少ないが、「体調管理ができてい」を挙げたのはすべて10年以上のベテランであったが、園の運営を意識していることの表れであろう。

### 3. 《保育技術面》

子どもに対しては、保育技術的なことよりも一緒に楽しむことや、積極的な姿勢が求められている。

技術的なことがあまり選択されなかったのはなぜか。実習生に求められていることは、まず多くの子どもと関わって子どもたちの心情や興味関心を知ってもらいたい、子どもたちと関わる楽しさを感じてもらいたいという気持ちだが、保育技術面よりも重要視されるのであろう。技術的なことは将来就職してからの本人の努力や創意工夫に委ねられているのだと思われる。

ピアノでは、たとえ失敗してしまっても弾き直すのではなく、歌に合わせて途中で

ら入ったり、失敗を恐れずに元気に歌を歌い続けることという技術が求められている。幼稚園の現場では本格伴奏は重要視されておらず、筆者の幼稚園勤務の経験でも実習生に関しては簡易伴奏で子どもと楽しく歌えることが求められていた。

指導案通りに保育を行う(表6)が園ではほとんど重要視されていないのは、以下の2点が考えられる。一つ目は指導案が重視されていないという意味ではなく、実習前に用意したものではなく、実習を通して理解した子どもの姿とカリキュラムに応じた指導案立案を先生方は求めているのであろう。二つ目は、指導案通りに行えない場合も多く、その時の子どもの実態に応じた対応が必要になってくると推測される。

小林<sup>5)</sup>は、養成校において教育課程の存在を考慮に入れた教育実習指導を行なう事が大切であり、教育課程を無視しての教育実習が真の保育の姿を学ぶとはいいがたいと述べている。実習を受け入れる側としては実習生に教育課程を知らせる必要性、実習生は実習園の教育課程を見て幼稚園に寄り添い、教育課程を意識した実習を心がける必要があると言える。だからこそ、養成校にいるときに責任実習の指導案を決めるようなことがあってはならず、実習を通して見た子どもの発達段階やそれまでの姿をもとに臨機応変に活動を考えていく事が大切であると認識できる。

榎本<sup>6)</sup>は、学生は実習日誌に困難さを感じていると報告している。しかし本調査では、実習日誌については気づいた事や感想が自分なりの言葉でまとめられているということが多く求められていて、学生が思っているほど細かな記録は求められていないということがわかった。実習日誌の困難は、文章力とコミュニケーション能力の問題であるのかもしれない。本調査では、実習生に対しての意見として“質問してほしい”



という記述が多く見られたし、幼稚園長の鶴谷<sup>7)</sup>は、実習を成功させるための具体的なアクションとして、「実習生は担当の先生と仲良くなれ！」ということを書いている。一生懸命に学ぼうという姿勢を見せることで、担当者もきめ細かく指導してくれる為、担当者との信頼関係を築くことができる。また、信頼関係ができると先生が子どもの性格や見る視点をこまめに教えてくれることが多いので、子どもとの関わりが充実すると同時に日誌や責任実習の計画が立てやすくなるという利点がそろっている。質問することでわからない事の解決と、その他に多くのことを学ぶことができ、結果的には経験値が上がる事が期待できる。

## VI. まとめ

保育現場では保育技術はもちろん大切であるが、それ以上に一生懸命に取り組む学ぼうとする姿勢や礼儀や作法などの社会的スキルを求めている事がわかった。細々とした技術よりも人間性や社会性の育成が大切ということである。社会的な面においては「これくらいはわかっているだろう」という概念を捨て、学生と実習園が求めている社会性のレベルの違いについて、実習指導その他において、留意して指導していく必要性を感じた。

保育技術面においては、子どもと関わりその時々に見られる姿と向き合う事が大切なので、実習指導の中で写真や動画を使って子どもの心情の理解や、事例について話し合う機会などを設け、様々な視点から対応する事ができる学生の育成に力を入れていきたいと考えた。その前提として、各実習園の教育課程をふまえた上で指導することができれば、より内容の濃い実習を送ることができるのではないかと考える。実習は学生が学んだ事を実践できる場でもあり、保育の現場を知ることができる場でも

ある。貴重な実習だからこそ、実習園と養成校とで連携しながら取り組んでいけるようにしたい。

## 要約

幼稚園、認定こども園における教育実習で実習生はどんなスキルが求められているかの研究である。実習日誌、ピアノ伴奏などの個別の技術もさることながら、現場の教員と共に活動する協調性やコミュニケーション能力が最も必要とされていることが判った。

## 謝辞

本調査にあたり、協力していただいたS市内の各園の園長先生をはじめ先生方に心より感謝申し上げます。

## 引用文献

- 1) 芳井宏暢・坂口静子・浅倉涼二 (2018) 保育実習に望む学生の不安度についての考察～受け入れ園の気づきとともに～、豊岡短期大学論集 15、241-250.
- 2) 全国保育士養成協議会 (厚生労働省平成 29 年度子ども・子育て支援推進調査研究事業) 保育実習の効果的な実施方法に関する調査研究.
- 3) 林悠子・森本美佐・東村知子 (2012) 保育者養成校に求められる学生の資質について～保育現場へのアンケート調査より～、奈良文化女子短期大学紀要 43、127-134.
- 4) 戸川俊 (2014) 保育者養成における実習指導についての一考察～実習受入現場でのアンケート調査から～、近畿大学豊岡短期大学論集 11、37-45.
- 5) 小林研介 (2018) 幼稚園における教育課程をふまえた教育実習と幼児期の教育方法のあり方について、佐野日本大学短期大学研究紀要 29、67-79.

- 6) 榎本眞実(2017) 学生が感じる実習記録の困難さに関する一考察～困難さがなくなるプロセスに着目して～. 東京家政大学研究紀要 57 (1)、19-39.
- 7) 鶴谷主一:教育実習について.<https://www.humanservices.jp/wp/wp-content/uploads/magazine/vol16/12.pdf> (最終アクセス日:2020年3月10日)